

平成18年度 事業計画

上田市地域振興事業団の設立趣旨及び、寄附行為の目的に沿い、コミュニティの育成を図るとともに、地域住民の文化の向上と福祉の増進に関する事業を行う。

又、公共施設の管理運営の受託を通して、地域交流活動や文化振興等地域社会の発展と住みよい生活環境の創造に寄与するため、各施設の設置目的に沿いその特色を生かした事業を推進する。

理事会、評議員会の開催

- 1 理事会（任期 平成17年4月1日～平成19年3月31日）
 - ・平成18年5月（合併後新市の助役（理事長）決定後）
平成17年度決算承認等について
 - ・平成19年3月 平成19年度事業計画、予算（案）承認等について
- 2 評議員会
 - ・平成19年3月 平成19年度事業計画、予算（案）等の審議

公共施設の指定管理

公共施設の適切な管理と利用者の立場に立った運営を推進する。

- 1 上田地域広域連合から上田創造館の指定管理
- 2 上田市から技術研修センターの指定管理
- 3 上田市から農林漁業体験実習館の指定管理

公共施設の受託管理

公共施設の適切な管理と利用者の立場に立った運営を推進する。

- 1 上田市から農業バイオセンターの管理及び研究開発業務受託
- 2 上田市からマルチメディア情報センターの地域情報化業務受託

喫茶及び販売事業（自主事業）

施設利用者の利便性を図るとともに、ふれあいと憩いの場を提供する。

- 1 喫茶事業
 - ・上田創造館喫茶（コパン）
 - ・マルチメディア情報センター喫茶（ほーむページ）
- 2 販売事業
 - ・室賀温泉入浴用品の販売

指定管理事業

1 コミュニティ育成に関する事業

上小地域を中心としたコミュニティ活動の推進を図る。

開館20周年を記念して特別企画展として、創造館を利用して文化活動をしている団体に呼びかけ発表展示を開催する。

- (1) 親子ふれあい物づくり体験事業として、折紙教室、ふしぎ・なるほど・おもしろサイエンス、光と影の遊び影絵、きり絵教室、伝承遊びの開催
- (2) 蚕都上田にちなみ蚕の飼育、地域団体の協力を得て昔話語りの会、七夕飾り、クリスマスの飾り付けの実施
- (3) 絵手紙展、きり絵展、蔵書票展の開催
- (4) 星空コンサート、文化講演会、天文講演会、うえだアート・クラフトフェアの開催
- (5) プラネタリウムでは、星空の投影と音楽で住民の皆さんにリラックスタイムを送る計画
- (6) エントランスでは、地域で活躍しているアマチュアの音楽の発表の場としてミニコンサートを開催

2 文化振興に関する事業

地域の伝統・伝承的民俗行事等の紹介や教育、文化活動を支援し、地域の芸術文化の発展に努める。

特に本年度は、市町村合併など地域の環境が大きく変わろうとしています。そこで新規事業として現在ある指定文化財を網羅して市民に紹介し、旧市町村の良さを理解してもらうことを目的として「新生上田市の指定文化財展」を、また、それぞれの「ふるさと」のすばらしさを写真に残し活用していくため「ふるさと写真展」を開催する。

- (1) 地域に伝わり、伝承的財産として保存されている行事等の紹介や展示
「新生上田市の指定文化財展」「道祖神まつり展」「凧展」「しめ縄づくり」の実施
- (2) 文化団体等との共催による美術展を開催し、展示施設等の有効利用と利用促進を図る。
「ふるさと写真展」「上小美術展」「農民美術展」「日本画展」「水彩画展」「写真展」「水墨画展」「陶磁展」「上小地域作家作品展」「書道展」の開催
- (3) 児童生徒の芸術文化活動への支援
上小地域小中学校児童生徒作品展（絵画・書道・立体作品）の開催

3 上田創造館

当館は地域住民の芸術文化、教育、体育等の振興を図るための広域的な施設であり、利用者が快適に利用でき、住民の多様なニーズに対応すると共に総合学習の一環として、小中学校の科学教育を補完する施設として積極的に事業展開し、施設の管理、利用の促進に努める。

また、本年度は創造館開館20周年に当たることから特別企画を開催する。

- (1) プラネタリウムや天体望遠鏡を活用した天文学習の開催
- (2) 園児や小中学校の学習教室の開催
- (3) 学校週休2日制に伴う児童生徒の校外学習教室の開催
- (4) コミュニティの育成に関する事業
- (5) 文化振興に関する事業
- (6) 各種パソコン教室の開催
- (7) 市立図書館の分室、学習室としての活用
- (8) 複合機能を持つ特質を生かした利用促進
- (9) 20周年記念事業の開催（二足歩行ロボットASIMOの公演等）

4 上田市技術研修センター

企業の技術研修、技術交流そして異業種間の交流の施設として、今後も周辺企業を中心に利用の促進を図ると共に、定期的な利用者に対しても引き続き利用の促進を図る。

なお、研修センター設備についても老朽化した部分の更新を図ると共に、防火のための設備点検をはじめ利用者の安全確保に最善を尽くす。

5 農林漁業体験実習館（室賀温泉ささらの湯）

魅力ある農業や農村づくりを進めるため、農村と都市との交流を推進し、農村と都市との交流の拠点施設として環境整備と管理に努め、温泉などの地域資源を活用し地域に密着した事業の展開を推進する。

- (1) 自主事業の企画・実行（ガーデニング教室、体験教室）
- (2) 地域との連携を図る各種イベント等の実施（ほたる祭、七夕まつり、盆踊り大会、きのご研修会、温泉まつり、もちつき体験等）
- (3) 情報・文化の交流を深めるギャラリーの活用（写真展、絵画展等）
- (4) 利用者向上に向けての利便性向上推進（マイクロバス送迎、広報活動、施設の改善）

受託事業

1 農業バイオセンター

トルコギキョウ、スターチス、花壇用等の苗生産については、優良な品種と良質な苗生産に努める。

市民要望、市内部の各課取組みの中で、当施設においても協力体制を強化していく。

又、平成18年3月の合併に伴い、丸子、武石、真田への花卉苗の拡充は図れないものか検討努力していく。

(1) 試験研究事業

- 人為交配による新品種の育成
 - トルコギキョウ、スターチスの新品種の育成
 - 松くい虫に抵抗性のある赤松の研究
- 交配種子の選抜試験
 - トルコギキョウ、スターチスの選抜試験
- 景観植物の研究
 - オオマツヨイグサ（月見草）の種子繁殖試験
 - フジアザミの種子繁殖試験
- 地域特産品の開発と純系保存に関する研究
 - 大豆（コウジイラズ）の純系保存
 - 山口大根の純系保存と種採り
 - 山口大根の大型種（室賀系山口大根）の固定化試験
 - モイワナズナの保存（岩鼻隧道工事による一時避難）
 - 蚕影キュウリの性状と種採り
 - 上田みどり大根の純系育成
 - タカサゴユリの性状と保存

(2) 実用化試験事業

- 宿根スターチス（ファミリートーク、クリーム他）
- トルコギキョウ（だるま、アプリコット、ラブソング、紫の郷、紅の郷、ラムレーズン、カブキブルー他）
- 上下水道から出る汚泥の堆肥化、肥料化試験
- 健康補助植物（ルバーブ、バジル、フェンネル、桑の葉等）の検討

(3) 育苗試験事業

- 育苗利用組合、JAの依頼を受け育苗から配苗まで
 - ・トルコギキョウ（約140万本）
 - ムラパス、ラベンダー等の箱蒔き、エクローサ等のプラグ苗、エクローサグリーン等の冷房苗
 - ・スターチス（約1万5千本）
 - イエローバーディー、ロマンチックブルー等のメリクロン苗
 - ・キンギョソウ他（15万本以上）
- 公園緑地課の依頼による花壇苗育苗（ポット苗、プラグ苗）
 - ・各自治会、北小フラワーロード、六中他（約4万3千本）

(4) 栽培指導

- ガーデニング教室への講師派遣
- 育苗指導

2 マルチメディア情報センター（メディアランドUEDA）

「市民サービス・満足度の向上」、「地域の競争力の強化」、「地域の個性・上田らしさの創出」という目標を推進するために地域情報化の拠点施設として事業の充実を図る。

合併によって地域が広がるため、ネットワークセンターとしての役割の強化を図り、情報化社会の利便性の向上に努める。

(1) 人材育成事業

マルチメディア情報センターでは、子どもから大人までICT（Information Communication Technology）を活用した表現力の向上や個性を引き出す事業を展開してきた。また、各種セミナーの受講者はこれまでの累計で4万人を超え、一般市民のICT活用の底上げに大きな役割を果たしてきた。インターネットの普及率がわが国の世帯の86.8%（世帯普及率）という数字に代表されるようにICTは、日常生活に大きく浸透している一方で、情報化社会における「影」の問題を派生させこの解決が大きな課題となっている。

学校教育の情報化推進の支援とICTを活用した生涯学習の支援

ICTを活用した表現力の養成や情報モラル、メディアリテラシーの向上
地域企業のICT高度活用の支援等

(2) 地域個性の情報発信

これまでに蓄積されたマルチメディア情報センターのホームページは、「内容が充実した全国屈指のサイト」としても評価されているほか、センター職員による自主制作ビデオ映像も全国規模のコンクールで入賞した。その有効活用によって合併後の「上田らしさ」を創出する情報発信を積極的に行う。

新上田市の地域全体の中で、貴重な文化資産を記録、保存、活用を進める。

蓄積されたコンテンツの有効活用

(3) 情報活用支援センター

国は2010年の次世代ICT社会の実現に向けた中期ビジョンを策定し、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワークを簡単に利用して便利な社会を目指している。上田地域の唯一の情報関連施設としてネットワークの中心となるマルチメディア情報センターの一層の機能強化とICTを活用する支援の役割を果たす。

市民団体との連携

市民のIT相談

地域イントラネットの運用管理

(4) その他

施設の利用者増を図るための積極的なPR活動を行うとともに、映像の上映会やイベントを開催する。